

発行：再稼働阻止
全国ネットワーク
070-6650-5549



3/31(日) ただちに

老朽原発 廃炉!

美浜全国集会

～地震も事故も まったなし～

JR美浜駅
一小浜
美浜町立生涯学習センター
美浜町役所
美浜町立生涯学習センター
美浜町立生涯学習センター
美浜町立生涯学習センター

■と き■
12:00開場 12:30開会

■ところ■
はあとホール
（美浜町保健福祉センターはあとびあ1F
旧ブロッコ屋敷は「宅内屋敷」ごきすな！美浜委員会）

行動概要

はあとホールで集会し
→原子力事業本部（美浜駅駅前）に向けてデモ
→原子力事業本部前で集会、申し入れ
→町内デモ
解散15時

能登半島地震に対する規制委員会の反応は？ 『自らの不明を恥じるどころか、まるで人ごと 審査で考慮していない事態が起きたというのに』

山崎 久隆(たんぽぽ舎共同代表)



現地測量調査(1/10、11)により4.1mの隆起が
確認された門前町五十洲付近の海岸
(写真は国土地理院ウェブサイトより)

◎規制委は過去の審査で何と言ったか

原子力規制委員会は1月10日の記者会見で、北陸電力志賀原発2号機の新規制基準適合性審査について言及した。山中伸介委員長は「能登半島地震を考慮するため、数年単位で長期化する見通しを示した。」という。

そのような感想を語る前に、直前に行っていた現地調査の結果、問題なしとしてきた自らの不明を恥じて検証するべきなのではないか。

2023年3月3日、規制委の審査会合において2022年に行なった現地調査の結果を踏まえて「志賀原発の敷地内断層はいずれも将来活動する可能性のある断層には該当しない」と判断していた。

しかし、その判断が間違っている可能性が高まっている。

そのうえ、規制庁は志賀原発の新規制基準適合性審査が、今後「それほど長くはかからない」などとしていたという。

地震が起きていなければ、規制委は地震対策について問題ないという結論を出しかねない局面にあったのだ。

◎規制委の牧歌的な感想に怒り心頭

山中委員長は、今回の地震を引き起こした断層などのメカニズムが専門機関で検証された後、審査にどのように取り入れるかを判断する必要があると指摘。地震の十分な検証には「相当な年数がかかると思う」と述べた。将来的な審査で求める耐震性については、現状の想定よりも「大きくなる方向になると想像する」と話した。

規制委は本来の役割に立ち返り、志賀原発が立地不適当なのではないかを審査すべきだ。

規制委の現地調査では海岸線に平行に走る福浦断層のトレンチ（断層面を切り出して外から見えるようにしている溝）を見たはずだ。そこには少なくとも2メートル以上の段差が存在している。南東－北西方向の応力がかかった逆断層面に沿って海側が隆起した。そのわずか1キロほど先に志賀原発が建っている。

福浦断層と平行するように沖合4キロほどには兜岩沖断層が、原発から北には今回の地震でも揺れの強度が変化した境目にある富来川南岸断層が存在し、これら断層は一連の地震活動で動く可能性がある。

1892年の高浜～福浦沖の地震は、12月9日と11日に発生した。地震規模はそれぞれ、M6.4とM6.3。この震源は富来川南岸断層と兜岩沖断層二つの断層の延長上にあり、活動領域が未知の断層である。この地震では40センチの段差が生じた。

周囲の断層の活動度と海岸線から内陸に掛けて存在する「離水ベンチ」の分布からも、地震の度にメートル単位での隆起が起きていることは間違いない。原発に近い富来（とぎ）漁港の崖には地震の度に隆起した跡が刻まれている。その高さは9.6、11.5、14.5、17.2メートルだ。

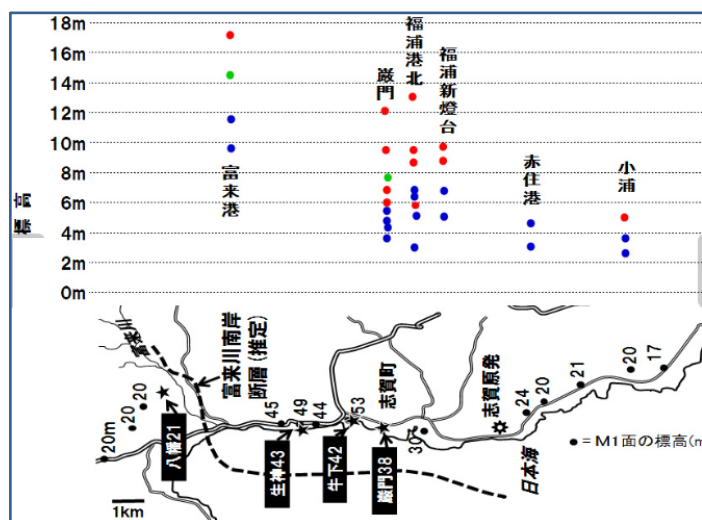
今回の能登半島地震と4メートル以上の隆起は、三千年から四千年に一度の規模だと、東北大学の

遠田晋次教授は述べている。三千年や四千年とは、人間の歴史にとっては長時間だが、地質年代からは瞬時だ。

志賀原発前の海底や陸上部はメートル規模で隆起した形跡が確認できる。そんなときに、キロメートル規模の断層を眺めて「動く」「動かない」と論じることが、いかに愚かなことか。

僅かな長さの断層の活動に対して地震の揺れを想定し、既に建ててしまった原発の基準地震動をいじってみても安全性は高まることなどない。もっと本質的な問題に注目する必要がある。

「富来川南岸断層が12～13万年間、継続的に隆起」
立石雅昭新潟大学名誉教授
「原発ゼロと自然エネルギー」hpより



〈上図の解説〉

2007年に発生した能登半島地震と同様に、北にのし上がるような逆断層の富来川南岸断層が地震を起こし、その度に隆起したとすれば、12～13万年前の中位段丘の段丘崖に刻まれた海食ノッチ（窪み）も、北に向かって高くなるであろうという予測のもとに、海食崖のノッチの高度を敷地の南から富来川まで測定しました。予測は的中、ノッチは明らかに北に向かって高くなっていきました。1箇所でも2～3露頭、測定しました。図の赤は高い方のノッチ、青は低いノッチです。場所によれば、3段あるいは4段あります。（原発ゼロと自然エネルギー-hpより）

◎ 原発は地盤変状を考慮していない

会見前の定例会合では、地震津波対策の審査を担当する石渡明委員が、能登半島地震で未知の複数の

断層が連動した可能性に言及。「地震がどのように起こったかを調べ、審査に生かす必要がある」と指摘した。

能登半島地震の断層の連動性については、規制委は知らなかったのか。既に以前から研究者からは指摘されていた。

《渡辺満久東洋大学教授の指摘》

渡辺満久東洋大学教授の「能登半島南西岸変動地形と地震性隆起」（『地理学評論』2015年10月）によれば、

「富来川南岸断層の走向はNE-SW方向であるが、海域へ連続し、海岸からやや離れた位置で走向をN-S方向に転じていれば、上記の変動地形学的特長はよく説明できると思われる。原子力安全・保安院（2009）によれば、上記で想定しているような調査地域西方（3～4km）の海域に、東側隆起の兎岩冲断層の存在が知られている。調査地域の隆起運動は、このような活断層の活動によってもたらされた可能性がある」との指摘が既にあった。

この断層群が活動したら、原発は海から引きはがされるように持ち上げられ、海底取水口や海底トンネルは崩壊、さらに敷地内にも無数の断層や地盤変異が発生し、冷材配管や電源設備は全壊するだろう。

それでも原発の安全は確保できるというならば、それはSFの世界であり、工学でさえない。

地震や地質学などの理学を軽視し、工学的安全設備の充実といった「力業」で原発の過酷事故を回避できるとしてきた日本の「**世界で最も厳しい水準の安全規制**」は、**能登半島地震の現実の前に、木っ端微塵に砕かれた。**

日本中の原子力施設や長大なトンネル建設は、メートル単位の地盤変状を考慮しては造られていない。

◎ 地震列島日本では原子力施設を全廃する以外、危機を回避するすべはない

トンネルならば、不幸にして居合わせた人々の犠牲と、インフラとして巨額の費用が無駄になるが補修はできるかもしれない。しかし、原発はそれでは済まないことを福島第一原発事故で思い知ったのではないか。

日本中の原子力施設を全部廃止すること、それ以外にカタストロフを回避する方法はない。

**【島根原発 2 号機再稼働を止める集会】**

3月3日(日) 松江テルサホール (14時～15時30分)

講演-「原発震災!『避難計画』は住民を守らない」

講師:大河陽子弁護士 集会後、会場周辺をデモ行進

【東海第二原発いらない一斉行動】 (第11波)

期間: 3月1日～3月11日 場所: 全国各地

・呼びかけ-東海第二原発いらない首都圏ネットワーク

【日本原電前行動 & 東電本店合同抗議】

3月11日(月) 原電本店抗議(17時～18時15分)

・「防潮堤欠陥工事」の東海第二再稼働許すな!

東電本店合同抗議(19時～20時15分)

・汚染水流すな! 東電と国は原発事故の責任を認め賠償責任を果せ!

柏崎刈羽原発うごかすな!

**【ストップ川内原発 / 3.10 かごしまパレード】**

3月10日(日) 鹿児島中央駅前東口広場(13時～)

主催:ストップ川内原発 / 3.11 鹿児島実行委員会

・川内原発1,2号機の20年運転延長は認められない。原子力規制委員会は活断層の再調査を行え!



3月22日(金) 九電本社交渉 13時～15時

地震対策、使用済み燃料問題など公開質問状への回答

【原発事故は終わっていない!】**3.11 ふくしま集会** 3月11日(月)郡山市

・ほんとの空の下で語られる本当の声を聞きに来てください。会場:郡山市労働福祉会館

13:30～ ①福島からの報告

②講演:関礼子さん(立教大学教授)

「原発事故は人々に何をもたらしたのか」

③パネルディスカッション

④女川原発差し止め訴訟からの報告

16:00～デモ

主催:3.11 福島実行委員会

連絡先:080-6220-0996(藤井)

〈書籍案内〉 ★脱原発シリーズ**珠洲原発阻止へのあゆみ一選挙を闘いぬいて**

北野進【著】七つ森書館(2005/02発売)

2003年2月、関西、中部、北陸の三電力社長が珠洲市役所に市長を訪ね、珠洲原発計画の凍結を伝えた。計画浮上から29年目、ビッグプロジェクトが幕を閉じたのである。著者は県議会議員を務め、現在、志賀原発運転差し止め原告団長の北野進氏です。

【さようなら原発全国集会】 3月20日

会場:代々木公園 13時オープニングライブ

再稼働阻止ネットは共同ブースを出店します。

11時ブース開店 渋谷コースのデモで

「東海第二原発いらない」を

アピールしましょう!

**「さようなら原発核燃 3.11 青森集会」**

3月10日(日)青森市民ホール(12:30～)

講演:武藤類子さん 終了後デモ

「4・9反核燃の日」全国市民集会 4月6日(土)

青森市文化会館4F会議室[1](11:30～13:20)

「4・9反核燃の日」全国集会 4月6日(土)

青森市文化会館大会議室(14:00～15:00)

終了後、青森市内デモ

「六ヶ所再処理工場門前抗議集会」

集会と村内デモ 4月7日(日)(10:30～)

**【第8回 福島を忘れない
全国シンポジウム・現地視察】**

主催:反原発自治体議員・市民連盟

シンポジウム 7月7日(日)13:30～16:00

報告者:菅野清一川俣町議 横山秀人飯館村議

馬場積元浪江町議 木幡ますみ大熊町議

現地視察 7月8日(月)8時発～川俣町山木屋～

飯館～浪江町津島地区～請戸海岸～伝承館見学

◎費用:25,000円～30,000円

(往復バス・シンポ・ホテル泊朝食・現地視察)

問合せ先:090-5497-4222

『再稼働阻止全国ネットワーク』

連絡先 TEL 070-6650-5549 FAX 03-3238-0797 info@saikadososhinet.sakura.ne.jp

新住所 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-1-1 高橋セーフビル1F たんぽぽ舎気付

・再稼働阻止全国ネットワークホームページ saikadososhinet.sakura.ne.jp/

・郵便振替口座 [00110-0-688699] 加入者名:[再稼働阻止全国ネットワーク]

・銀行など 預金種目:当座(ゆうちょ銀行 金融機関コード:9900 店番:019)

店名:〇一九店(ゼロイチキュー店) 口座番号:0688699

・会費(年間):団体会費一口5000円 個人会費一口3000円